

分析結果報告書〔6〕 1 / 2 1

4 底質試料 2 (ダイオキシン類) (「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する抽出方法)

機関コード	
機関名	
郵便番号	
電話番号	
国際的な認証等の取得 (複数回答可)	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025(ガイド 25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者 (抽出操作) 氏名 経験年数 実績 (年間の分析試料数)	() 年 ()
分析主担当者 (クリアアップ操作) 氏名 経験年数 実績 (年間の分析試料数)	() 年 ()
分析主担当者 (GC/MS操作) 氏名 経験年数 実績 (年間の分析試料数)	() 年 ()

測定回数	()
------	-----------

注) 分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連操作を行った回数 (1 ~ 5 の整数) を記入する。

この測定回数分の分析結果を次の表 (2 / 2 1 ~ 1 1 / 2 1) に記入する。例えば、1 回測定の場合には、< 1 回目の分析結果 > (2 / 2 1 及び 3 / 2 1) に記入し、< 2 ~ 5 回目の分析結果 > (4 / 2 1 ~ 1 1 / 2 1) は記入しない。

分析結果報告書〔6〕 2 / 2 1

< 1 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (p g / g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
P C D D s 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	P C D F s 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
P C D D s 同 族 体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
P C D F s 同 族 体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 1) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔6〕 3 / 21

< 1 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト異 性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
モノ オル ト異 性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
そ の 他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記 (1 / 21) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト 4 異性体の和、「モノオルト」はモノオルト 8 異性体の和、「計 (DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 1 回目の分析結果 (毒性当量 : TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計 : TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQ は、異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の 1/2 とする。

TEF は、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔6〕 4 / 2 1

< 2 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (p g / g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
P C D D s 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	P C D F s 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
7 塩素化物		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF				
P C D D s 同 族 体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
P C D F s 同 族 体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 1) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔 6 〕 5 / 2 1

< 2 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト異 性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
モノ オル ト異 性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3,3',4,4',5-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
		2,3,4,4',5'-HpCB (#189)			
そ の 他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記 (1 / 2 1) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト 4 異性体の和、「モノオルト」はモノオルト 8 異性体の和、「計 (DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 2 回目の分析結果 (毒性当量 : TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計 : TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQ は、異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の 1/2 とする。

TEF は、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔6〕 6 / 21

< 3回目の分析結果 (PCDDs及びPCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
P C D D s 異 性 体	4塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8塩素化物	OCDD			
	P C D F s 異 性 体	4塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
7塩素化物		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
8塩素化物	OCDF				
P C D D s 同 族 体	4塩素化物	TeCDDs			
	5塩素化物	PeCDDs			
	6塩素化物	HxCDDs			
	7塩素化物	HpCDDs			
	8塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
P C D F s 同 族 体	4塩素化物	TeCDFs			
	5塩素化物	PeCDFs			
	6塩素化物	HxCDFs			
	7塩素化物	HpCDFs			
	8塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注1) 前記(1/21)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔6〕 7 / 21

< 3 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト異 性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
モノ オル ト異 性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3,3',4,4',5-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
モノ オル ト異 性体	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
そ の 他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記(1/21)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 3 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ(PCDDs及びPCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ(DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ(ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔6〕 8 / 21

< 4 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注 1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (p g / g) 注 2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
P C D D s 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	P C D F s 異 性 体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
P C D D s 同 族 体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
P C D F s 同 族 体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注 1) 前記 (1 / 2 1) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔6〕 9 / 21

< 4 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト異 性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
モノ オル ト異 性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
そ の 他	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
		計 (DL-PCB)			
そ の 他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
そ の 他	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記(1/21)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 4 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ(PCDDs及びPCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ(DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計: TEQ(ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の1/2とする。

TEFは、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔6〕 10/21

< 5回目の分析結果 (PCDDs及びPCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
P C D D s 異 性 体	4塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8塩素化物	OCDD			
	P C D F s 異 性 体	4塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
6塩素化物		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
7塩素化物		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
8塩素化物	OCDF				
P C D D s 同 族 体	4塩素化物	TeCDDs			
	5塩素化物	PeCDDs			
	6塩素化物	HxCDDs			
	7塩素化物	HpCDDs			
	8塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
P C D F s 同 族 体	4塩素化物	TeCDFs			
	5塩素化物	PeCDFs			
	6塩素化物	HxCDFs			
	7塩素化物	HpCDFs			
	8塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注1) 前記(1/21)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔6〕 11 / 21

< 5 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノン オル ト異 性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
モノ オル ト異 性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
モノ オル ト異 性体	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
モノ オル ト異 性体	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
		2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
そ の 他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記 (1 / 21) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限) は有効数字 2 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト 4 異性体の和、「モノオルト」はモノオルト 8 異性体の和、「計 (DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 5 回目の分析結果 (毒性当量 : TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (pg/g) 注2)		
		定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)		-	-
E	TEQ (DL-PCB) 注4)		-	-
Q	計 : TEQ (ダイオキシン類) 注4)		-	-

注4) TEQ は、異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値及び定量下限未満で検出下限以上の値はそのままの値、検出下限未満のものは検出限界値の 1/2 とする。

TEF は、1997年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔6〕 12 / 21

<抽出>

試料のほかり取り量	() g
抽出方法	注) 1. ソックスレー抽出 2. 湿泥 - ヘキサン抽出法 3. 湿泥 - ソックスレー抽出法
ソックスレー抽出 溶媒	トルエン
抽出時間	() 時間 注) 16 時間以上
溶媒量	() ml
ろ紙の種類	1. セルロース 2. ガラス繊維 3. 石英 4. その他 ()
抽出液の濃縮	1. KD 2. ロータリーエポレーター 3. その他 ()
濃縮後の定容量 (抽出液)	() ml
クリーンアップ用の試料 (抽出液の分取量)	() ml
クリーンアップ剤の添加	1. 添加する 2. 添加しない
添加箇所	1. 抽出前に添加 (試料に添加) 2. 抽出後に添加 (抽出液に添加) 3. その他 ()

注) 「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する抽出方法としては、ソックスレー抽出 (16時間以上)、湿泥 - ヘキサン抽出法又は湿泥 - ソックスレー抽出法であり、それ以外の方法 (例えば、高速溶媒抽出 (ASE) 等) の抽出方法で分析した場合には、分析結果報告書 [7] に記入する。

<クリーンアップ>

硫酸処理	1. 行う 2. 行わない
シカゲルマト	1. 行う 2. 行わない
多層シカゲルマト	1. 行う 2. 行わない
その他の操作 (GC/MS分析用試料液の調製方法)	
・アルミカゲルマトグラーフ (JIS K 0311の6.4.5のa)	1. 行う 2. 行わない
・高速液体カゲルマトグラーフ (JIS K 0311の6.4.5のb)	1. 行う 2. 行わない
・活性炭カゲルマトグラーフ (JIS K 0311の6.4.5のc)	1. 行う 2. 行わない
・活性炭カゲルマトグラーフ (活性炭用スラムを使用)	1. 行う 2. 行わない
・ジメチルスルホキシド (DMSO) 分配処理操作 (JIS K 0311の6.4.5のd)	1. 行う 2. 行わない
・アルミカゲルマトグラーフ (PCDDs及びPCDFs測定用とDL-PCB測定用に2分割しないで操作する)	1. 行う 2. 行わない
・活性炭カゲルマトグラーフ (PCDDs及びPCDFs測定用) 及びアルミカゲルマトグラーフ (DL-PCB測定用) (PCDDs及びPCDFs測定用とDL-PCB測定用に2分割後操作する)	1. 行う 2. 行わない
・その他の処理	()
硫黄分除去の処理	
・多層シカゲルマト	1. 行う 2. 行わない
・抽出液中に銅 (チップ又は粉状等) を入れる	1. 行う 2. 行わない
・硝酸銀シカゲルマト	1. 行う 2. 行わない
・銅 (チップ又は粒状) カム	1. 行う 2. 行わない
・銅線 (コイル状) を浸す方法	1. 行う 2. 行わない
・その他	()
転溶溶媒	1. ノナン 2. トルエン 3. デカン 4. イソオクタン 5. その他 ()
GC/MS分析用試料液 PCDDs及びPCDFs用	() µl
DL-PCB用	() µl

分析結果報告書〔6〕 13 / 21

< GC / MS 1 >

対応物質 1 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1.4 塩素化物 2.5 塩素化物 3.6 塩素化物 4.7 塩素化物 5.8 塩素化物 6.4 塩素化物 7.5 塩素化物 8.6 塩素化物 9.7 塩素化物
GC 1 型式		1. GC 17シリーズ 2. GC 2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 1 型式		1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他()
内径	() mm	
長さ	() m	
膜厚	() μm	
昇温条件 1 初期		温度()、温度保持()分
1 回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
2 回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
3 回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
4 回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
(5 回以上の昇温の場合)		最終温度()、温度保持()分
昇温回数		回数()回
注入 1 量	() μl	
注入口温度	()	
注入方式		1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
キャリアーガス 1 流量	() ml/分	
MS 1 型式		1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 1		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 1 方法		1. EI 2. その他()
電圧		1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える
電流		1. 500 μA未満 2. 500~1000 μA 3. 1000 μAを超える
イオン源温度	()	

分析結果報告書〔6〕 14 / 21

< GC / MS 2 >

対応物質2 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1. 4塩素化物 2. 5塩素化物 3. 6塩素化物 4. 7塩素化物 5. 8塩素化物 6. 4塩素化物 7. 5塩素化物 8. 6塩素化物 9. 7塩素化物
GC 2 型式		1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム2 型式		1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他()
内径		() mm
長さ		() m
膜厚		() μm
昇温条件2 初期		温度()、温度保持()分
1回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
2回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
3回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
4回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
(5回以上の昇温の場合)		最終温度()、温度保持()分
昇温回数		回数()回
注入2 量		() μl
注入口温度		()
注入方式		1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
キャリアーガス2 流量		() ml/分
MS 2 型式		1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能2		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化2 方法		1. EI 2. その他()
電圧		1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える
電流		1. 500μA未満 2. 500~1000μA 3. 1000μAを超える
イオン源温度		()

分析結果報告書〔6〕 15 / 21

< GC / MS 3 >

対応物質3 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1. 4塩素化物 2. 5塩素化物 3. 6塩素化物 4. 7塩素化物 5. 8塩素化物 6. 4塩素化物 7. 5塩素化物 8. 6塩素化物 9. 7塩素化物
GC3 型式		1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム3 型式		1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他()
内径		() mm
長さ		() m
膜厚		() μm
昇温条件3 初期		温度()、温度保持()分
1回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
2回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
3回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
4回目の昇温		速度() /分 到達温度() 温度保持()分
(5回以上の昇温の場合)		最終温度()、温度保持()分
昇温回数		回数()回
注入3 量		() μl
注入口温度		()
注入方式		1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
キャリアーガス3 流量		() ml/分
MS3 型式		1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能3		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化3 方法		1. EI 2. その他()
電圧		1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える
電流		1. 500μA未満 2. 500~1000μA 3. 1000μAを超える
イオン源温度		()

分析結果報告書〔6〕 16 / 21

< GC / MS 4 >

対応物質 4 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1. 4 塩素化物 2. 5 塩素化物 3. 6 塩素化物 4. 7 塩素化物 5. 8 塩素化物 6. 4 塩素化物 7. 5 塩素化物 8. 6 塩素化物 9. 7 塩素化物
GC 4 型式		1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 4 型式		1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他()
内径		() mm
長さ		() m
膜厚		() μm
昇温条件 4 初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数		温度()、温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 4 量 注入口温度 注入方式		() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
キャリアーガス 4 流量		() ml/分
MS 4 型式		1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 4		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 4 方法 電圧 電流 イオン源温度		1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500μA未満 2. 500~1000μA 3. 1000μAを超える ()

分析結果報告書〔6〕 17 / 21

< GC / MS 5 >

対応物質 5 (複数回答可)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	1.4 塩素化物 2.5 塩素化物 3.6 塩素化物 4.7 塩素化物 5.8 塩素化物 6.4 塩素化物 7.5 塩素化物 8.6 塩素化物 9.7 塩素化物
GC 5	型式	1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
カラム 5	型式 内径 長さ 膜厚	1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8(PCB) 12. PTE5 13. RH12(MS) 14. Rtx5(MS) 15. Rtx50(MS) 16. Rtx624 17. SP2331 18. TC5 19. その他() () mm () m () μm
昇温条件 5	初期 1 回目の昇温 2 回目の昇温 3 回目の昇温 4 回目の昇温 (5 回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()、温度保持()分 速度() /分 到達温度() 温度保持()分 最終温度()、温度保持()分 回数()回
注入 5	量 注入口温度 注入方式	() μl () 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
キャリアーガス 5	流量	() ml/分
MS 5	型式	1. Auto Spec シリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
測定時の分解能 5		1. 10000未満 2. 10000~12000 3. 12000を超える
イオン化 5	方法 電圧 電流 イオン源温度	1. EI 2. その他() 1. 40V未満 2. 40~70V 3. 70Vを超える 1. 500μA未満 2. 500~1000μA 3. 1000μAを超える ()

< 検量線の作成 >

検量線	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	作成点数 作成範囲(濃度) 繰返し数 作成点数 作成範囲(濃度) 繰返し数	() 最小() ng/ml ~ 最大() ng/ml () () 最小() ng/ml ~ 最大() ng/ml ()
標準物質(液)	PCDDs及びPCDFs DL-PCB	製造メーカー 開封後の月数 製造メーカー 開封後の月数	1. CIL 2. Wellington 3. その他() ()月 1. CIL 2. Wellington 3. その他() ()月
装置安定性	感度変動 保持時間変動		() % () %

分析結果報告書〔6〕 18 / 21

<内標準物質（PCDDs及びPCDFs）の添加量と回収率>（使用した内標準物質に対応する欄に記入する）

塩素数	内標準物質	クリーニング剤		ソージ剤
		添加量 (ng)	回収率 (%)	添加量 (ng)
4 塩素化物	¹² C ₁₂ -1,2,3,4-TeCDD			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -1,2,3,4-TeCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,3,6,8-TeCDD			
	¹³ C ₁₂ -2,3,7,8-TeCDD			
	³⁷ Cl ₄ -2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8-PeCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7-PeCDD			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7-HxCDD			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8,9-OCDD			
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -2,3,7,8-TeCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -2,3,7,8-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,7,8-TeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,3,6,8-TeCDF			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8-PeCDF			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,7,8-PeCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -2,3,4,7,8-PeCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6-PeCDF			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	¹² C ₆ ¹³ C ₆ -1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	¹³ C ₁₂ -1,2,3,4,6,7,8,9-OCDF			
その他	()			
	()			

分析結果報告書〔6〕 19 / 21

<内標準物質 (DL-PCB) の添加量と回収率> (使用した内標準物質に対応する欄に記入する)

塩素数	内標準物質	クリーニング剤		ソルvent
		添加量 (ng)	回収率 (%)	添加量 (ng)
4 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,4,4',5-TeCB(#81)			
	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4'-TeCB(#77)			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4',5-TeCB(#70)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',5,5'-TeCB			
5 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5-PeCB(#126)			
	¹³ C ₁₂ -2',3,4,4',5-PeCB(#123)			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5-PeCB(#118)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4'-PeCB(#105)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,4,4',5-PeCB(#114)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',5,5'-PeCB			
	¹³ C ₁₂ -2,2',4,5,5'-PeCB			
6 塩素化物	¹³ C ₁₂ -3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)			
	¹³ C ₁₂ -2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)			
	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,4,4',5'-HxCB			
7 塩素化物	¹³ C ₁₂ -2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,4,4',5,5'-HpCB(#180)			
	¹³ C ₁₂ -2,2',3,3',4,4',5-HpCB(#170)			
その他	()			
	()			

<空試験値及び相対感度係数 (PCDDs 及び PCDFs) > (空試験値が検出されない場合には、その項目の欄は記入しない)

塩素数	分析項目	空試験値	相対感度係数	
		(pg/g に換算)	RRFcs	RRFrs
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD			
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
	2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF			

分析結果報告書〔6〕 20/21

< 空試験値及び相対感度係数 (DL-PCB) > (空試験値が検出されない場合には、その項目の欄は記入しない)

塩素数	分析項目	空試験値 (pg/gに換算)	相対感度係数	
			RRFcs	RRFrS
ノン オ ル ト	4 塩素化物 3,4,4',5-TeCB(#81) 3,3',4,4'-TeCB(#77)			
	5 塩素化物 3,3',4,4',5-PeCB(#126)			
	6 塩素化物 3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)			
モ ノ オ ル ト	5 塩素化物 2',3,4,4',5-PeCB(#123) 2,3',4,4',5-PeCB(#118) 2,3,3',4,4'-PeCB(#105) 2,3,4,4',5-PeCB(#114)			
6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)			
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)			
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)			
7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			

< 検出下限値 (PCDDs及びPCDFs) >

塩素数	分析項目	検出下限		
		装置 (pg)	試料における (pg/g)	試料測定時 (pg/g) 注)
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
	1,2,3,6,7,8-HxCDD			
	1,2,3,7,8,9-HxCDD			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD			
4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
	2,3,4,7,8-PeCDF			
6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
	1,2,3,7,8,9-HxCDF			
	2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
8 塩素化物	OCDF			

注) 分析結果が検出下限未満であった場合に記入する。

分析結果報告書〔6〕 21 / 21

<検出下限値 (DL-PCB)>

塩素数	分析項目	検出下限		
		装置 (pg)	試料における (pg/g)	試料測定時 (pg/g) 注)
ノ ン オ ル ト	4塩素化物	3,4,4',5-TeCB(#81)		
		3,3',4,4'-TeCB(#77)		
	5塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB(#126)		
	6塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)		
モ ノ オ ル ト	5塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB(#123)		
		2,3',4,4',5-PeCB(#118)		
		2,3,3',4,4'-PeCB(#105)		
		2,3,4,4',5-PeCB(#114)		
6塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)			
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)			
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)			
7塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)			

注) 分析結果が検出下限未満であった場合に記入する。

<測定質量数> (質量数は2つまで回答可)

塩素数	分析項目	質量数			
P C	4塩素化物	TeCDD	1 . 319.8965	2 . 321.8936	
			3 . その他 ()		
D D	5塩素化物	PeCDD	1 . 353.8576	2 . 355.8546	3 . 357.8517
			5 . 389.8816	6 . その他 ()	
s	6塩素化物	HxCDD	1 . 387.8186	2 . 389.8156	3 . 391.8127
			4 . その他 ()		
	7塩素化物	HpCDD	1 . 423.7767	2 . 425.7737	3 . 389.8156
	8塩素化物	OCDD	1 . 457.7377	2 . 459.7348	3 . 423.7377
			4 . その他 ()		
P C	4塩素化物	TeCDF	1 . 303.9016	2 . 305.8987	3 . 317.9389
			4 . その他 ()		
D F	5塩素化物	PeCDF	1 . 339.8597	2 . 341.8568	
			3 . その他 ()		
s	6塩素化物	HxCDF	1 . 373.8203	2 . 373.8207	3 . 375.8178
			5 . その他 ()		
	7塩素化物	HpCDF	1 . 407.7818	2 . 409.7788	
	8塩素化物	OCDF	1 . 439.7457	2 . 441.7428	3 . 443.7398
			4 . その他 ()		
D L	4塩素化物	TeCB	1 . 289.9224	2 . 291.9194	3 . 293.9165
			4 . その他 ()		
P	5塩素化物	PeCB	1 . 323.8834	2 . 325.8804	3 . 327.8775
			4 . その他 ()		
C B	6塩素化物	HxCB	1 . 357.8444	2 . 359.8415	3 . 361.8385
			5 . その他 ()		
	7塩素化物	HpCB	1 . 391.8054	2 . 393.8025	3 . 395.7995
			4 . その他 ()		